

看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に資する体制について（令和 7 年度）

1. 責任者：看護部長
2. 委員会等：現場の声が反映できる師長会・病棟連絡会等での情報収集及び伝達
多職種からなる役割分担のための業務改善委員会・労働安全衛生委員会
3. 計画の周知について：業務改善委員会による部署内伝達と取り組み事項の掲示
4. 問題点・解決策
 - 問題点 1 看護職員と看護補助者との業務内容及び業務範囲について
見直しのための中心となる人材の育成
対策 1 宮崎県看護協会主催
「看護補助者の活用のための看護管理者研修」の受講
 - 問題点 2 看護職員への基本的考え方の周知・看護補助者の基礎知識の習得
対策 2 3 病棟・7 病棟看護職員・看護補助者を対象に勉強会を実施
 - 問題点 3 看護職員と看護補助者の業務内容及び業務範囲についての見直し
対策 3 各部署で業務範囲について検討。人員・状況に合わせる。
 - 問題点 4 患者様の高齢化による介護負担の増加
対策 4 ・ギャッジベッド・褥瘡予防マットレスの有効活用
必要対象者と交換、必要時購入（購入依頼中）
・介護補助器具の情報収集と購入の検討
・夜勤帯に負担の多い病棟には 3 人体制の維持（3 病棟・5 病棟）
・オムツセット導入による業務改善
 - 問題点 5 慢性的なマンパワーの不足
対策 5 現状の把握 勤務時間・超過勤務等の把握し人事異動に反映
・人事考課制度を実施し、それを活用することで配置転換をすすめる
・看護職員の補充に向けた取り組み
ハローワークや学校の説明会に参加
求人募集の検討
・新人教育制度の実施
・広報活動
・制度設計
・外国人採用（4 月 2 名 10 月 1 名）
 - 問題点 6 子育て世代の職員が安心して育児に取り組む
対策 6 くるみん企業認定
・育児短時間勤務等の推進
・男性職員の育児休業取得の推進

令和 7 年 4 月 1 日

医療法人建悠会 吉田病院